

公益財団法人斎藤茂吉記念館平成29年度事業報告書

概要

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えるとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸及び文化の発展に寄与するための館内展示整備・設備の拡充、より深い理解を得るための情報提供としての解説機器類の設置、斎藤茂吉に対する理解と短歌の向上のための講座・歌会・短歌作品募集等の事業を行った。さらに、毎年継続的に実施している斎藤茂吉を記念する顕彰事業を関係自治体等の協力を仰ぎながら実施した。

また、法人運営に関しては、開館 50 周年記念事業として斎藤茂吉記念館リニューアル事業(展示リニューアル及び建物改修・設備更新・バリアフリー化)計画実施と、それに伴う長期休館時の協力施設における「斎藤茂吉」展の開催と、斎藤茂吉記念館友の会・リニューアル事業募金活動を行った。

1. 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア、斎藤茂吉記念館の一般公開(入館者実績)

○一般入館者	3,280 人 (個人 2,638 人・団体 642 人)
○観光契約入館者	207 人 (個人 13 人・団体 194 人)
○身障者(付添者)割引入館者	125 人
○減額・免除・招待入館者	1,075 人 (減額 691 人・免除 331 人・招待 53 人)
合 計	4,687 人 (開館日数 153 日／1 日平均 31 人) ※休館日 212 日

イ、常設展示 - 常設展示室「茂吉の生涯とその作品」展・集会室「晩年の居室」展(共催事業)

斎藤茂吉の生涯を伝える自筆書画・原稿・著書・遺品ほか、同時代の文人等の資料展示と解説を行った。展示方法として、編年的に4つのコーナーに区分し、その時代や近代短歌史の流れにおける茂吉の位置を明確にしながら、残した業績と共に紹介した。作品・資料は、自筆の資料を中心用い、展示に際しては展示室内壁面等設置のケース内に解説を加えながら作品・資料を配した。また、終焉を迎えるまでの茂吉の生活を旧蔵資料等により紹介し、生活を共にした斎藤家一族の今につながる様子も合わせて資料等を用い晩年の居室とともに紹介した。さらに、展示資料を補足するための関連映像資料、情報提供機器による解説を合わせて行った。

ウ、常設(映像)展示 - 映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し館内常設展示資料等を補足するための静止画デジタル映像を、定時的に上映(約 18 分間)するとともに、「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」の解説資料を作成し、展示室内に配置(常時配布)した。

エ、特別展示 - 常設展示室の一部利用「斎藤茂吉短歌文学賞」

斎藤茂吉短歌文学賞の発足(平成元年)から現在に至るまでの経過の紹介、各回受賞者の紹介とその作品を展示了。

オ、特別展示 - 館内ロビーの利用「短歌雑誌(アララギ系を中心として)」「斎藤茂吉の歌碑」

アララギ終刊後の後継誌・同系列誌等の短歌雑誌の展示(見学者閲覧可)と、斎藤茂吉歌碑の情報(各地の建立状況等)提供等のための展示を行った。

カ、展示情報等音声解説機器「音声ガイド」設備設置

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(20 台)の継続設置と有料貸出を実施した。また、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。平成 29 年度貸出利用台数 : 85 台

キ、特別展・守谷夫妻記念室「茂吉の親しき友人・愛する家族への手紙」展(共催事業)

斎藤茂吉の青年期以降の学友、作歌を始めてからの歌友・門人ら親しき仲間たちとの交遊の様子を垣間見る書簡、家族宛の愛情深い書簡の展示を中心として、人間茂吉の生活環境と深い愛情から生み出された芸術作品の根底を捉えながら茂吉を探求するため実施した。また、第43回斎藤茂吉記念全国大会時(平成29年5月14日)には館長ギャラリートークを行った。

※展示資料点数：49点(解説・写真等パネルを含む)

※会期：平成29年4月29日(土/祝日)から同年8月31日(木)まで「125日間」

ク、斎藤茂吉記念館開館50年記念事業「斎藤茂吉」展(共催事業)

斎藤茂吉記念館開館50年記念事業の一環として、博物館等施設(3館)において、改修等工事に伴う休館時の対応とリニューアル新装開館等の周知、斎藤茂吉と斎藤茂吉記念館の普及等のため斎藤茂吉と関連資料の出品を行い斎藤茂吉展を各館との共催・協力として実施した。

※対象施設・会期等詳細：別記「斎藤茂吉記念館開館50周年記念事業」記載

(2) 資料の収集保存・整理と調査・報告事業

ア、資料等の収集と収蔵品の管理

斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための詳細調査と整理を行った。

	平成28年度	・	平成29年度/新規	
○基本財産収蔵品(A評価資料)	1,775点	：	1,733点+42点	
○その他の収蔵資料(B評価資料・C評価額無資料)	2,714点	：	2,708点+6点	
○除外資料(工事用記録映像・一般歌集・図書等)	3,582点	：	(3,459点+*123点)	
○新規除外資料(図書資料のみ)	122点	：	(*123点) 122点	
	計	8,193点	：	8,023点+170点

※寄託品資料《個人短期：1,039点/個人長期：185点/上山市：2,208点/山形県：1点》

計 3,433点

収蔵資料数 合計 11,626点

イ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物の発行

◎「平成28年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第32号」(2016/4~2017/3)

※A4判28頁(平成30年3月31日発行)

(3) 学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(共催事業)

◎平成28年度第14回応募作品における最優秀作品表彰式

最優秀賞受賞者6人の表彰式を、第43回斎藤茂吉記念全国大会開催時(平成29年5月14日)に実施した。※会場：三友エンジニア体育文化センター・エコードホール

◎第15回短歌作品募集と選考(作品選歌)

○小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定(チラシ印刷)・募集(学校単位の応募：1人1首)を実施した。(募集期間：平成29年11月14日から同30年1月15日まで)

※全応募数：10,462首(県内5,458首・県外5,004首)126校(県内61校・県外65校)

○選考委員による作品選考(第1次審査「200首選考」平成30年1月31日)(第2次審査「60首選考/重複選考により47首」同年2月16日)(最終選考「6首/小・中・高校各2首」同年2月23日)を実施するとともに、最終選考後に最優秀賞を発表し、関係機関・報道等に周知した。

※第1次選考選者：山形県内在住の歌人13氏/第2次・最終選考選者：県内外著名歌人：大瀧保・栗木京子・小島ゆかりの3氏

○最優秀賞の表彰式は、平成30年5月13日開催の第44回斎藤茂吉記念全国大会(平成30年度事業)において実施するものとし、また、優秀賞を対象とした賞状の授与に伴う準備を行った。(最

優秀賞・優秀賞の各賞状：平成 30 年 5 月 13 日付)

◎第 15 回入選作品集の発行

最優秀作品・優秀・入選作品全 200 首と選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことば等を掲載した作品集「平成 29 年度第 15 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集 桜実(Sakurago)」を、平成 30 年 3 月 15 日付で発行し、県内市町村教育委員会、協力学校(小・中・高校)、図書館等に配布した。※A5 判 57 頁

◎最優秀作品掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー)

最優秀作品(小・中・高校各 2 首/計 6 首)について、斎藤茂吉記念館内(1 階ロビー)において各部門ごとに掲示した。

イ、講座等事業

◎特別講座「能楽と和歌・短歌」

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と短歌の普及・探求等のための特別講座として、能楽師を招いて能楽と和歌・短歌をテーマに実施した。

日時：平成 29 年 4 月 2 日(日)午後 1 時～午後 4 時

会場：月岡ホテル 鶴の間

講師：友枝真也氏(シテ方喜多流能楽師)・佐々木多門氏(シテ方喜多流能楽師)

秋葉四郎館長

参加者数：47 人(有料/資料代実費)

◎第 11 回定例歌会／ミュージアムコンサート「茂吉の詩^(うた)の世界-欧州音楽紀行」(共催事業)

斎藤茂吉記念館諸事業の周知、新装開館後の誘客と短歌実作の向上等を目的に、超結社の歌会形式による定期的歌会を平成 25 年度からの継続事業として、改修工事に伴う閉館前に、年度内 1 回目の第 11 回歌会を実施した。合わせて歌会終了後、特別展等展示作品解説(館長ギャラリートーク)と、閉館後にミュージアムコンサートを合わせて行った。

日時：平成 29 年 8 月 27 日(日)午後 2 時(開場)から午後 7 時まで

会場：斎藤茂吉記念館内諸室

○定例歌会：午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分・斎藤茂吉記念館内集会室(1 階)

作品総評：秋葉四郎館長

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

参加者数：42 人(申込者 46 人)(有料/資料代実費/斎藤茂吉記念館入館料含)

※館長ギャラリートーク：午後 4 時 30 分～午後 5 時・守谷夫妻記念室等(地階)

○ミュージアムコンサート「茂吉の詩^(うた)の世界-欧州音楽紀行」：午後 5 時～午後 7 時・ロビー等(1 階) 地元若手演奏家 3 氏による斎藤茂吉の詩歌楽曲を中心とした演奏会(ドリンク付)

参加者数：86 人(有料/ドリンク料金等含)

◎第 12 回定例歌会(共催事業)

次年度新装開館の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、超結社の歌会形式による定期的歌会を平成 25 年度からの継続事業として、年度内 2 回目の第 12 回歌会を改修工事等による休館実施期間中に伴い、会場を館外(上山市内)施設に変更し実施した。

日時：平成 29 年 11 月 5 日(日)午後 1 時～午後 3 時 30 分

会場：上山市中部地区公民館多目的ホール／2 階(上山市十日町)

作品総評：秋葉四郎館長

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

参加者数：26 人(申込者 38 人)(有料/資料代実費)

◎出前(出張)講座(講師派遣／職員)

○茂吉のふるさと短歌教室 講師：秋葉四郎館長、内容：作歌指導等、対象：各中学一年生

期日・場所：平成 29 年 7 月 13 日(木)・上山市立宮川中学校

同 9 月 28 日(木)・上山市立南中学校

同 9月29日(金)・上山市立南中学校
平成30年1月18日(木)・上山市立北中学校

○歌人斎藤茂吉蔵王文学のみち実行委員会設立総会 講話：秋葉四郎館長、内容：「斎藤茂吉の生涯とその歌」、期日：平成29年7月4日(火)、場所：蔵王温泉・蔵王体育館会議室

○第22回茂吉のふるさと文化祭(金瓶地区) 講話：秋葉四郎館長、内容：「茂吉の金瓶で生きている歴史」、期日：平成30年2月4日(日)、場所：茂吉ふるさと会館、対象：金瓶地区民等

ウ、茂吉短歌ポスト(共催事業)

短歌の普及拡大と啓発のため、広く短歌作品を募集し選歌・作品集刊行等を行う通年実施の事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の作成・配布(観光施設等)、投稿作品の選歌(県内主要歌人による選歌「入選3首・佳作5首」と入選者公表、入選・佳作・投稿全作品を掲載する「茂吉短歌ポスト作品集第25集」の発行を実施した。また、第47回かみのやま温泉全国かかし祭会期中の特別投稿箱かかしの出品(月岡公園内：9/30～10/9)と「こども短歌かかし」募集に伴う選歌(応募作品1,082首より小学校・中学校の各部門選考／最優秀賞1首・優秀賞2首の各部門ごと計3首／全6首)と表彰式の実施協力を行った。

○選歌のための選者(県内主要歌人／大瀧保・鎌上純子・早坂富美子の3氏)の任命と選歌(50首程度を目処に依頼、入選・佳作者には賞状を贈呈、選歌結果を報道機関等に周知)

※第120回選歌(早坂富美子選)：年度内投稿分38首について選歌

※第121回選歌(鎌上純子選)：年度内投稿分201首について選歌

※第122回選歌(大瀧保選)：年度内投稿分36首について選歌

○「茂吉短歌ポスト作品集 第25集」の発刊 第118・119・120回の各回入選・佳作作品と全投稿作品(126首)を収載し、平成29年9月20日付で発行した。

※A5判33頁(応募者全員・関係者・関連施設・関係団体等に配布／送付)

エ、ホームページの設置

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的として、公式ホームページの継続設置と定期的情報更新を行った。(URL <http://www.mokichi.or.jp/>)

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰の事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催事業)

斎藤茂吉の業績顕彰と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と同記念歌集の事業について第43回(集)を実施した。

さらに、次年度開催予定の同大会第44回の事業計画策定及び参加・歌集第44集投稿募集案内等を実施した。

◎第43回斎藤茂吉記念全国大会の開催

○平成29年5月14日(日)：墓前行事(宝泉寺)・金瓶散策(歌碑・学校等見学)・斎藤茂吉記念館見学(特別展展示解説：館長ギャラリートーク) 参加者：57人／第28回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(賞の贈呈・選考経過報告・受賞者の代理挨拶)・第14回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品(受賞者6人)表彰式「平成28年度応募作品」・アトラクション「混声合唱フロイデによる茂吉短歌合唱」・記念講演会(講師：坂井修一氏 演題「斎藤茂吉と北原白秋」) 参加者：288人(三友エンジニア体育文化センター・エコーホール)／記念レセプション(月岡ホテル) 参加者：80人

◎斎藤茂吉記念歌集第43集の発行

一般投稿作品と児童・生徒秀歌作品を収載し、斎藤茂吉生誕日の平成29年5月14日付で発行した。

○A5判117頁 一般作品：474首(人)・児童・生徒秀歌作品(第14回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品)：200首、計674首収載

◎第44回斎藤茂吉記念全国大会事業実施(同記念歌集第44集発刊)計画策定及び参加・投稿募集

○運営委員会の開催(平成29年11月7日) 上山市中部地区公民館多目的ホール：「第44回斎藤茂吉記念全国大会日程・同記念歌集第44集募集要項等について」「運営委員の委嘱状交付」委員

(歌人)：大瀧保・鎌上純子・雁部貞夫・布宮雅昭・皆川二郎の 5 氏／※第 44 回斎藤茂吉記念全国大会参加と同記念歌集第 44 集投稿募集及び周知（募集期間：平成 29 年 12 月～同 30 年 4 月）
○第 44 回斎藤茂吉記念全国大会：平成 30 年 5 月 13 日（日）

斎藤茂吉記念館見学／第 29 回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式・第 15 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式・記念シンポジウム（討議：大島史洋《基調提言》・雁部貞夫・栗木京子《進行》・東直子の 4 氏／演題「これからの中歌、記念館・文学館」）・記念レセプション
※会場：三友エンジニア体育文化センター（エコーホール）・記念レセプション会場：月岡ホテル

○斎藤茂吉記念歌集第 44 集の発刊に伴う投稿募集

イ、斎藤茂吉短歌文学賞の実施（共催事業）

○第 28 回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式（第 43 回斎藤茂吉記念全国大会開催時/平成 29 年 5 月 14 日（日）・会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール 受賞者：橋本喜典 氏／作品：『行きて帰る』（短歌研究社 刊）

○第 29 回斎藤茂吉短歌文学賞 受賞者：大辻隆弘 氏／作品：『景德鎮』（砂子屋書房 刊）

ウ、第 51 回茂吉忌合同歌会（共催事業）

斎藤茂吉を顕彰するとともに県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を偲ぶ歌会として平成 30 年 2 月 25 日（日）に開催した。事業実施に際して歌会参加及び作品募集要項の策定、第 51 回作品集・入選作品集の発行（歌会当日発刊）を行った。会場：三友エンジニア体育文化センター・軽スポーツルーム 歌会実施内容：分科会・選者講評・特選入選者表彰等 ※出詠数：107 首（人）・歌会出席者：46 人（一般 28 人・関係者等 18 人）

（5）関連団体等の文化活動に対する協力

ア、団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

○写真資料の貸与及び印刷物等掲載の承認 申請許可件数：7 件／点数：11 点

○資料撮影（館内撮影）・転載（掲載）の承認 申請許可件数：3 件／点数：6 点

○収蔵資料の貸与及び展示の承認 申請許可件数：2 件／点数：9 点

◎事業実施に伴う協力（貸出等の点数は上記承認実績に含む）

○特別展「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」

北海道立近代美術館・東京都美術館・京都国立近代美術館主催で平成 29 年 8 月 26 日から同 30 年 3 月 4 日までの会期により実施した特別展展示及び図録作成に伴い、展示・撮影資料（1 点）の出品協力を行った。

○さかい利晶の杜与謝野晶子記念館企画展「万葉集の人間主義—不安な未来への希望を求めて」

大阪府堺市主催で平成 29 年 10 月 27 日から同年 12 月 10 日までの会期により実施した企画展に伴い、斎藤茂吉肖像写真（1 点）の提供協力を行った。

○會津八一記念館企画展「會津八一と吉野秀雄」

新潟市會津八一記念館主催で平成 29 年 12 月 22 日から同 30 年 3 月 25 日までの会期により実施した企画展に伴い、展示資料（8 点）の出品協力を行った。

イ、外部団体（個人）の依頼による斎藤茂吉等関連の調査等の協力

○資料持ち込みによる内容調査（年度内随時）の実施

○個人・団体発行の冊子・広報紙等における執筆及び情報・資料等の提供

ウ、各種団体の文化活動等に対する協力

○「斎藤茂吉記念第 24 回中川町短歌フェスティバル」事業の後援

北海道中川郡中川町教育委員会の主催で、平成 29 年 6 月 1 日から同年 10 月 31 日まで（短歌作品募集：同 7 月 20 日まで）により行う短歌作品（小・中・高校生及び一般）の審査と表彰・作品集

の刊行等に伴う後援団体として協力した。

エ、かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館3館)事業

3館共同印刷物(共通入館券)「かみのやまウエルカムパスポート」を発行(運用)した。

※発行部数:1,000部、有効期間:平成29年1月15日から同年8月31日まで

2、頒布事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

○斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布:68種(有料)

○見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布:26種(有料)

3、法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

ア、斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく設立と運営・事業の実施

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、会の設立及び入会の勧誘と事業運営にあたり、運営組織整備と事業を計画・実施した。

※年度内の実施は、斎藤茂吉記念館開館50周年記念事業の一環(別記)として行った。

イ、斎藤茂吉の親族等に対する対応・協力

○故守谷誠二郎氏三十三回忌法要(昭和60年10月11日死去)を平成29年10月26日に菩提寺の善光寺(東京都港区北青山)において行った。

○上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等の協力(宝泉寺・金瓶学校保存会の活動に対する協力等・墓周辺植栽「アララギ木」整備:平成29年10月26日完了)

(2) 施設管理等の整備拡充事業

ア、管理規則第3条第1項に基づく休館日「7月第2週目の7日間」における臨時開館

斎藤茂吉記念館の建物・展示関係施設設備等の改修工事に伴い、例年の管理規則に基づく休館日を利用した施設・設備の点検・補修等が不要となり、さらに改修等工事に伴う休館(平成29年9月以降)も実施するため、7月の休館については、臨時開館し新装開館の周知等を行った。

※臨時開館:平成29年7月2日(日)から同月8日(土)まで「7日間」

イ、斎藤茂吉記念館周辺の整備

○斎藤茂吉記念館を周知するための誘導・案内板の追加設置の検討と既存案内板の整備

みゆき公園内、駐車場周辺、県・市道等沿線等

○斎藤茂吉記念館駐車場周辺の整備開発に伴う協力

上山市温泉健康施設設置計画に対する協力

4、斎藤茂吉記念館開館50周年記念事業

(1) 斎藤茂吉記念館建物等改修工事の実施

ア、建物・設備の老朽化に伴う修繕工事

※建物本体(内・外装)、電気・給排水設備、公園内付帯施設等

イ、建物等改修工事(障がい者対応/バリアフリー化等)

※エレベーター・障がい者等用多機能トイレ・館内展示室・館内外通路等の段差解消(スロープ化)・手すり等の設置、省エネルギー機器類の導入・設置

ウ、館内外展示リニューアル工事:斎藤茂吉記念館内常設展示室ほか諸展示室、公園内別棟の全面的(一部)変更

※壁面等の展示内容変更、解説機器類の設置、館外(箱根山荘の勉強部屋上屋内)の展示解説機器類設置等

(2) 建物等改修等工事期間中の休館

◎工事期間中における休館：平成29年9月1日（金）から同30年4月26日（木）まで

※休館・新装開館の告知のための印刷物（チラシ・ポスター等）を作成し、配布・各処掲示を行なった。

(3) 休館期間中における斎藤茂吉展等の開催

前記（公益事業）事業の一環として、さらに休館時における来館者等の対応と斎藤茂吉記念館改修後の新装開館を周知するため、他の博物館施設等を利用して斎藤茂吉の作品を中心とした特別展「斎藤茂吉展」を展示会場提供の各館と協力し実施した。

ア、蟹仙洞-特別展「画人斎藤茂吉とその周辺」（共催事業）

蟹仙洞本館1階展示室において、幼少期から晩年に至るまで、絵画に親しむ斎藤茂吉の当時の心情とその作品を中心に、絵画制作等に影響を与えた人と作品も合わせて紹介した。

※展示資料点数：39点（解説・写真等パネルを含む）

※主催：公益財団法人蟹仙洞・公益財団法人斎藤茂吉記念館

※会期：平成29年9月13日（水）から同29年10月16日（月）まで「30日間」

*会期中休館：毎週火曜日

※入場者数：303人

イ、上山城-特別展「斎藤茂吉と故郷かみのやま」（共催事業）

上山城特別展示室において、斎藤茂吉の故郷上山に対する思いを示す作品・資料・写真等を展示し紹介した。

※展示資料点数：43点（解説・写真等パネルを含む）

※主催：公益財団法人上山城郷土資料館・公益財団法人斎藤茂吉記念館

※会期：平成29年10月1日（日）から同29年11月30日（木）まで「60日間」

*会期中休館：平成29年11月9日（木）

※会期中のイベント：平成29年10月14日（土）

○斎藤茂吉展記念講演会「郷土を愛した茂吉の上山秀歌・山形秀歌」

講師：秋葉四郎館長、会場：上山城多目的ホール

※入場者数：10,640人

ウ、渋谷区立松濤美術館-サロン展「斎藤茂吉 - 歌と書と絵の心」

東京都渋谷区の渋谷区立松濤美術館内サロンミューゼ・特別陳列室において、斎藤茂吉の代表作となる書画、勢力を費やした原稿類、親交のあった文人等に宛てた書簡、人間茂吉を垣間見る遺品等の作品・資料を中心に、茂吉全般を網羅しながら渋谷とのつながりも含めて紹介し実施した。また本事業周知と見学者対応のため、案内チラシ（展示作品目録）と図録（作品のみ掲載の普及版/有料販売）を合わせて製作した。

※展示資料点数：114点

※主催：渋谷区立松濤美術館　※特別協力：公益財団法人斎藤茂吉記念館

※会期：前期：平成30年2月11日（日）から同年2月25日（日）まで「13日間」

後期：平成30年3月3日（土）から同年3月18日（日）まで「14日間」

*会期中休館：平成30年2月13日（火）・19日（月）・3月5日（月）・12日（月）

※会期中のイベント

○ワークショップ「自作の短歌で色紙を作ろう」：平成30年2月17日（土）

講師：秋葉四郎館長、会場：松濤美術館地階ホール

○講演会「斎藤茂吉 東京を歌う」：平成30年3月3日（土）

講師：秋葉四郎館長、会場：松濤美術館地階ホール

※入場者数：3,633人

(4) 新装開館に向けた事業準備

ア、平成 30 年 4 月 27 日(金)のオープニングセレモニー・竣工祝賀会の準備(行事内容・招待者等)

※内覧会(関係者対象の施設公開)：平成 30 年 4 月 26 日(木)

イ、斎藤茂吉記念館友の会の設立及び会員募集並びにリニューアル事業募金の実施

斎藤茂吉記念館開館 50 周年記念する友の会設立とリニューアル事業に対する募金を前提とした友の会入会の勧誘・受付・会員証等の交付と、事業の周知と普及、運営を行った。

ウ、新装開館記念特別展(守谷夫妻記念室)の開催準備／会期：新装開館日から約3ヶ月間

新装開館日を会期初日とした特別展を開催するための展示を企画するとともに、新たな常設展示室内展示作品・資料を補足するための逸品展としての準備・調査を実施した。

エ、新たな館内展示構成に対応するための資料収集と新規資料等を対象としたくん蒸の実施

斎藤茂吉の魅力を深める新たな館内展示構成に対応するとともに、収蔵資料の拡充、特別企画展等実施の円滑化をはかるため、斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集(遺族・親族、個人による寄贈・寄託)を行った。また、新規資料の保全を目的としたくん蒸(包み込みくん蒸)を休館時の平成 29 年 9 月 1 から同月 3 日まで館内(収蔵庫前室・研究室)において実施した。

オ、展示活用のための収蔵資料の修復(修繕)等の実施

斎藤茂吉などの主要資料のうち、今後館内展示の核となるべき作品・資料について、より良い状態で展示活用するために、墨書作品等をはじめ映像資料のデジタル画像化(茂吉遺族旧蔵の 8・16 mm フィルム)を含めた修繕と修復等を行った。

カ、斎藤茂吉記念館と斎藤茂吉・短歌等を普及する事業の再編

◎茂吉短歌ポストの設置等

通年設置する短歌ポストを館内にて常設設置するため、展示リニューアル工事事業の一環として整備した。

◎ホームページの再編準備

建物意匠・施設・展示の変更に伴い、掲載内容・情報再編(SNS 対応・物販品の通販対応等)の準備を行った。

キ、配布等印刷物、物販品の再編・制作の実施

建物・施設・設備・展示内容の変更に伴い、関連印刷物の図録「斎藤茂吉記念館」を第 1 刷(普及版)と第 2 刷改版を制作・発行した。また、入館時配布用案内パンフレットの制作準備を行った。さらに斎藤茂吉の普及と館内物販品の売上げ促進のための新規商品「茂吉短歌かるた」「オリジナル記念切手」の企画・制作・発行とともに、茂吉ゆかりの「アララギ木」を活用した商品開発・次年度販売等のための準備を行った。

4. 経過報告

《平成 29 年》

4 月 1 日	職員(事務局長)の任命辞令発令 職員(事務局次長・業務係学芸員・業務係事務員)3 人の任命・昇給辞令発令 嘱託職員 1 人の任命辞令発令
4 月 4 日	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく事業計画書等に係る提出書の提出
5 月 19 日	平成 28 年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の実地検査(検査員：山形県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課職員 2 人)
6 月 1 日	平成 28 年度業務執行監査(斎藤茂吉記念館館長室 監事 2 人)
6 月 8 日	公益財団法人斎藤茂吉記念館第 20 回理事会の開催(斎藤茂吉記念館集会室) ○承認事項 承認第 15 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 28 年度事業報告、計算書類等について

	<p>○決議事項</p> <p>議第 61 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 1 回)について 議第 62 号 斎藤茂吉記念館リニューアル工事請負契約及び斎藤茂吉記念館展示 リニューアル工事請負契約の締結について 議第 63 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 16 回評議員会の招集決定について ※報告事項 (1) 職務執行報告 1. 事業執行状況及び入館者状況 (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 28 年度資金運用状況報告 (3) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況(建物改修・設備更新・ バリアフリー化及び展示リニューアル)</p>
6月 21 日	<p>公益財団法人斎藤茂吉記念館第 16 回評議員会の開催(斎藤茂吉記念館集会室)</p> <p>○承認事項</p> <p>承認第 37 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 28 年度計算書類等について 承認第 38 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 1 回)について</p>
	<p>○決議事項</p> <p>議第 31 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について 議第 32 号 斎藤茂吉記念館リニューアル工事請負契約及び斎藤茂吉記念館展示 リニューアル工事請負契約の締結について 議第 33 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について ※報告事項 (1) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 28 年度事業報告 (2) 職務執行報告 1. 事業執行状況及び入館者状況 (3) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 28 年度資金運用状況報告 (4) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況(建物改修・設備更新・ バリアフリー化及び展示リニューアル)</p>
7月 2 日	管理規則第 3 条の規定に基づく休館日(7 月 8 日までの 7 日間)における臨時開館
9月 1 日	斎藤茂吉記念館建物等改修工事期間中における休館(平成 30 年 4 月 27 日まで)
10月 4 日	公益財団法人斎藤茂吉記念館第 21 回理事会の開催(上山市中部地区公民館会議室)
	<p>○決議事項</p> <p>議第 64 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 2 回)について 議第 65 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館管理規則の一部を改正する規則の制定について 議第 66 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 17 回評議員会の招集決定について ※報告事項 (1) 職務執行報告 1. 事業執行状況及び入館者状況 (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告 (3) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況</p>
10月 18 日	公益財団法人斎藤茂吉記念館第 17 回評議員会の開催(上山市役所政策会議室)
	<p>○承認事項</p> <p>承認第 39 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 2 回)について</p>
	<p>○決議事項</p> <p>議第 34 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館管理規則の一部を改正する規則の制定について ※報告事項 (1) 職務執行報告 1. 事業執行状況及び入館者状況 (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告 (3) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況</p>
11月 29 日	斎藤茂吉記念館職員研修視察 12 月 1 日まで 愛媛県松山市立子規記念博物館ほか
《平成 30 年》	
3月 7 日	公益財団法人斎藤茂吉記念館第 22 回理事会の開催(上山市中部地区公民館会議室)
	<p>○承認事項</p>

	承認第 17 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度資金運用計画について 承認第 18 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について
	○決議事項 議第 67 号 重要な使用人の選任について 議第 68 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 3 回)について 議第 69 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度事業計画について 議第 70 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算について 議第 71 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 18 回評議員会の招集決定について ※報告事項 (1) 職務執行報告 1. 事業執行状況 (2) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況
3 月 23 日	公益財団法人斎藤茂吉記念館第 18 回評議員会の開催(上山市役所政策会議室) ○承認事項 承認第 40 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度収支予算補正(第 3 回)について 承認第 41 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度資金運用計画について 承認第 42 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度事業計画について 承認第 43 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算について ○決議事項 議第 35 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について 議第 36 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について ※報告事項 (1) 職務執行報告 1. 事業執行状況 (2) 斎藤茂吉記念館リニューアル事業進捗状況
3 月 31 日	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(基本財産の額)、事業計画等(平成 29 年度事業計画書・収支予算書等)に係る提出書の提出 職員(事務局次長)の退職辞令発令・退職職員の表彰

5. 役員に関する事項

(1) 理事

代表理事	相馬 健一
業務執行理事	木村 義博
理 事	大久保 義彦
理 事	木村 福治
理 事	清野 伸昭
理 事	晋道 純一
理 事	佐藤 信幸

(2) 監事

監 事	川合 賢助
監 事	井上 真一

(3) 評議員

評議員	横戸 長兵衛
評議員	坂本 幸一(平成 29 年 6 月 21 日退任)
評議員	高橋 義明(平成 29 年 6 月 22 日就任)
評議員	山口 博子
評議員	古山 茂満
評議員	大瀧 保
評議員	佐竹 瑞夫
評議員	後藤 恒裕